道しるべ

国立市立国立第三中学校
第３学年　進路だより
令和５年４月２８日（金）
№６

中学３年生になって、早くも一ヶ月が経ちました。最上級生、受験生としての心構えはできていますか。ゴールデンウイーク明けからは本格的に体育祭の練習が始まります。また、並行して修学旅行の準備も進めていかなければなりません。あわただしい日々が続きますが、そんな中でも学校生活の基本である「授業」を大切にしていきましょう。あらためて確認しますが、受験で用いられる成績は１，２学期を合わせた成績です。１，２学期合わせて計３回の定期テストがあります。各定期テストの計画を大切にしつつ、入試に向けての長期の計画も大切にしてください。今回の進路だよりでは、学習計画や学習に取り組む姿勢等を記載しています。今の自分を振り返ってみましょう。

～計画的に学習しよう～

学習の効果をあげるためには、学習上の要点をしっかりおさえるとともに、教科ごとに課題や重点目標、年間計画などをしっかり立てておくことが大切です。受験（受検）を終えた３年生からは１，２年生の時の学習の仕方を振り返り、計画性がなかったことや、わからないことをそのままにしてしまったことを反省する意見が多くでました。そこでその反省を踏まえて、上級学校に進学するための年間学習計画（例）を立てました。どの時期においても、自ら課題を見つけて解決を図る「家庭学習」の力が大きな力となります。皆さんも参考にしてください。

時　期	努力目標と行動
６月～夏休みまで 【基礎力充実期間】	・授業の予習や復習を習慣化させるとともに、３年生での学習スタイルを確立させよう。 ・１，２年生で学んだ基礎を復習しよう（夏休み期間も通して）。 ※例年の都立問題の**６，７割**が１，２年の時に習った範囲から出題されています。
夏休み 【基礎力完成期間】	・復習確認テストの結果を参考に１，２年生の復習を終了させるとともに、苦手分野の克服に努めよう。 ※教科書を一から全部やり直すのは時間がかかります。苦手分野や理解があいまいな部分を重点的に取り組むと効率的です。 ・積極的に学校見学や体験授業に参加しよう。
９～１０月 【応用力養成期間①】	・問題集を中心に勉強し、応用力を高めよう。 ・志望校をしぼり説明会や相談会に参加して、「生の情報」を手に入れよう。 ・模擬試験などを受けて、試験会場の雰囲気を経験したり、現在の自分の実力を確認したりしましょう。
１１～１２月 【応用力養成期間②】	・希望進路先の出題傾向にあった問題を解き始めましょう。 ・本格的に模擬試験にチャレンジしてみよう。 ※志望校には何度も足を運び、できるだけ個別相談を受けよう。
冬休み 【応用力完成期間】	・問題演習の勉強で判明した弱点を克服しよう。
１～３月 【実戦力養成期間】	・模擬試験の結果を見て、志望校を想定した補習的な学習と応用的な学習を計画的に行おう。 ・新しいことに取り組むより、今までの受験勉強を確実に身に付ける復習を中心に学習を進めましょう。